

## 各事案の概要

## 事案①（令和2年3月10日発覚）

MVNO向けに提供する「IIJモバイルMVNOプラットフォームサービス」において、MNOから取得した当該サービスを提供しているMVNO3事業者の利用者の通話記録について、同社のサーバで誤った組合せの通話記録を作成提供し、漏えいが発生した。

## 事案②（令和2年9月16日発覚）

法人向け電子メールホスティングサービス「IIJセキュアMXサービス」で提供する「添付ファイル暗号化」機能において、送信者がBccとして宛先を記載した電子メールアドレスが、全ての電子メールの受信者に開示され、漏えいが発生した。

## 事案③（令和3年3月8日発覚）

法人向けモバイル通信サービス「IIJモバイルサービス/タイプD」の契約者向けサポートWebサイトで提供するSMS送信数記録照会において、過去に同サービスのSMS回線で使用されていた電話番号と同じ番号が再利用されている「IIJモバイルMVNOプラットフォームサービス」の音声通話回線・SMS回線でのSMS送信数記録が閲覧できる状態になり、漏えいが発生した。

## 事案④（令和3年3月12日発覚）

「IIJサービスオンライン」で提供する接続履歴照会において、過去に同じ電話番号を利用していた回線契約（個人向け仮想移動電気通信サービス「IIJmioモバイルサービス」及び「IIJモバイルMVNOプラットフォームサービス」）のデータ通信接続履歴が参照できる状態になり、漏えいが発生した。

## 事案⑤（令和3年6月2日発覚）

個人向けインターネットサービス「IIJmioサービス」の利用に関し契約者に付与するID(mioID)の統合を行う際に、誤って異なる契約者のIDを統合したため、同サービスの会員専用Webページ上で、ある契約者の日次のデータ利用料履歴を別の契約者が閲覧できる状態になり、漏えいが発生した。

## 事案⑥（令和3年7月15日発覚）

「IIJmioサービス」において、ある契約者が「My IIJmio」アプリを利用した際、当該処理が完了するまでに、別の契約者が同アプリを利用した場合、データの一時記憶領域へ書き込む処理で競合が発生し、ある契約者の同アプリ画面において、別の契約者の情報が表示され、漏えいが発生した。